



# バンコク便り



## 1. はじめに

先般 2 月 18 日に、山形県タイ友好協会オンラインセミナーを開催しました。講演では 2 つのテーマを取り上げ、タイの高齢化の状況や日系企業の取り組み、タイの日本食事情や食品輸出までの流れを説明いただきました。今回のセミナーが今後の皆さまのビジネスに少しでもお役に立てれば幸いです。今後も当協会事務局を務める荘内銀行では、タイとの観光及びビジネスの両面で交流の活性化に向けた取り組みを展開して参りますので、引き続き皆さまのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 当地ビジネス情報

### (①隔離免除の入国プログラム再開！)

2021 年 11 月にスタートしたワクチン接種完了者に対する隔離免除の入国プログラム「テスト&ゴー」は、オミクロン株の増加に伴い新規受付を一時中断していましたが、2022 年 2 月から全ての国・地域に対象者を拡大して再開いたしました。さらに 3 月からは隔離期間が実質 1 日となるなど、条件が緩和される見込みです。この入国規制緩和によって、観光業の立て直しの足掛かりになることが期待されます。

一方で、タイ国内の 1 日当たりの新型コロナ新規感染者数は昨年 12 月末の約 3,000 人から、2 月下旬には約 20,000 人まで拡大しているため、渡航の際には引き続き注意が必要です。渡航情報については、在タイ日本国大使館 HP でご確認ください。[https://www.th.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.th.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

### (②電気自動車 (EV) 奨励策)

タイ政府は電気自動車 (EV) の普及に向けた新たな奨励策を閣議決定しました。EV の販売価格を引き下げるための補助金支給や、タイ国内で EV を生産することを条件とした物品税と輸入関税の引き下げなどが最長 2025 年まで実施されるという内容です。タイ政府はこれらの奨励策により EV 普及を加速させ、2030 年までに国産車の 30% を EV とする国家戦略を掲げています。また 2065 年までにカーボンニュートラルを実現する目標を打ち出し、今後の普及次第では目標の前倒しをする可能性もありそうです。今後、在タイ企業はより一層の環境対策を求められる可能性があります。

なお、私が勤務しているカシコン銀行では環境に配慮した社会形成を振興する融資プロジェクト「GO GREEN Together (ゴー・グリーン・トゥギャザー)」を発表しており、EV 購入や太陽光パネルを設置するための住宅ローンに特別キャンペーン金利の提供を行うなど、タイにある銀行の中で最も世界環境を守る活動を積極的に展開しています。

## 3. 現地トピックス (ATK 検査をご存知ですか?)

タイでは ATK 検査が頻繁に行われています。ATK とは、抗原検査キット (Antigen Test Kit) の略称で、隔離免除プログラム「テスト&ゴー」の 5 日目に自身で行う必要のある検査でもあります。企業によっては従業員に対する週次検査や、来訪者に事前検査を求めている場合などもあり、私も週に 1、2 回は行うことから、自宅に検査キットを常備しています。薬局やコンビニなどで簡単に購入でき、結果も約 15 分で判明することから身近な存在となっています。一方で、検査キットの種類によっては結果が一定で無いほか、PCR 検査に比べ精度が劣ると言われています。そうしたこともあってか、タイを出国して日本に入国する際の有効な陰性証明としては使用できませんので、ご注意ください。



ATK セット内容

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・軽部・高橋 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)